

一般入試 出題意図

大問1 中野孝『自分を活かす”気”の思想』

太平洋戦争後から現代までの社会的変遷の中で「努力」の捉え方が変化していることを説明し、幸田露伴の言葉を援用しながら、努力の必要性を説く文章。自己の成長のために努力することの大切さを受験生に伝えるとともに論理的文章の読解力を問う出題。

問一 漢字5題、基本的だが評論文で用いる語彙の意味が確認でき、漢字に直せるかを問う。

問二 文学史の知識。

問三、問四、空所補充。文脈の展開を読み取ったうえで、語句、ことわざの意味が理解できるかを問う。

問五、問十 箇所指摘。文章の展開を把握したうえで、傍線部の表現の意図がつかめるかを問う。

問六、問七 傍線部の意味を、本文の展開に照らし合わせて、選択できるかを問う。

問八、問九 記述問題。筆者の意図、指示内容を明確化して記述できるかを問う。

大問2 森谷明子『南風吹く』

急病で離島から本土に入院した祖母の状況をきっかけに、離島に住む主人公と周りの人々の人間模様を描いた小説。心情把握において必要とする基本的な語彙力やレトリックの理解、文脈や因果関係、場面を通して把握した内容を心情理解に活かす力を問う出題。

問一 基本的漢字の読み書きを問う。

問二 修辞法の説明。

問三 文脈を通して、同じ表現に込められた心情の違いを読み取る問題。

問四 展開を読み取り表現の理由を記述する問い。

問五～問八 登場人物の心情を読み取り、最適な説明を選ぶ問題。